

自然と夏の調和～真夏の秦野戸川公園～

【2025 大学連携事業・東海大学】

大学生が「秦野戸川公園」の魅力をブログ形式で紹介します！

※この記事は、大学連携事業の一環として作成されたものです。

真夏の太陽が照りつける7月19日（土）13時頃、秦野戸川公園を訪れた。この日は快晴で、青空と豊かな緑がまぶしく、夏らしい風景が広がっていた。駐車場は6割ほど埋まっており、家族連れを中心に多くの地域住民が訪れていた。遠方から来ている観光客というよりは、地元の人々の憩いの場として親しまれている印象だった。

公園内を進むと、川遊びを楽しむ子どもたちの元気な声が響き、無邪気に水をかけ合う姿が見られた。特に、水無川で親子が楽しそうに遊んでいる光景が印象的だった。川は浅く流れも穏やかで、晴れている日には小さな子どもでも安心して水に入って遊ぶことができる。しかし、浅瀬であっても子どもから目を離さないようにすることや、大雨の際は急な増水に注意することが大切だ。太陽の光に反射してきらきらと輝く水面と、楽しそうな笑顔が夏の活気を象徴していた。



橋を渡ってさらに奥へ進むと、静かな雰囲気の中に趣のある茶室が現れた。お茶や和菓子を味わうことができ、茶室の周囲に広がる緑と木々の香りが心を落ち着かせてくれる。自然の中に溶け込むように建つ茶室は、訪れる人々に特別な時間を与えてくれる場所だった。

広大な敷地内はどこを見ても緑が鮮やかで、写真を撮るには最高の環境だった。茶室周辺の静けさと、川辺のにぎやかさ—そのコントラストが秦野戸川公園の魅力の一つだろう。



今回の訪問では、公園内を歩くだけでも十分に自然の豊かさを感じることができた。夏場には川遊びやバーベキューなどのアクティビティが充実しており、家族や友人と一日中楽しめる。さらに、公園に隣接したボルダリング施設もあり、本格的に体を動かしたい人にもおすすめだ。時間の都合で行けなかったが、周辺には「はだの歴史博物館」もあり、併せて訪れれば秦野市の文化にも触れられる。

季節によって楽しみ方が変わるのも秦野戸川公園の魅力である。真夏の強い日差しのもと涼を求めて川で遊ぶのもよいが、これからの秋の季節には涼しい風を感じながら散歩を楽しむことができるだろう。茶室は朝9時から16時まで営業しているため、訪れる時間を計画的に決めると、より充実した時間を過ごせる。



今回の調査を通して、秦野戸川公園は地域住民に愛される自然豊かな公園であることが分かった。春には桜、秋には紅葉と、四季折々の風景が楽しめるため、訪れるたびに新しい魅力を発見できる場所である。

今後の課題としては、プロモーションの強化が挙げられる。立地的にアクセスがやや不便な点もあるため、SNSなどを活用して「映える」投稿を発信し、より多くの人にその魅力を知ってもらう工夫が必要だろう。

自然と人との距離が近いこの公園は、これからも多くの人にとって癒しの場所であり続けるに違いない。

[!\[\]\(e474458956c9a37fbf9586ddb60a7fa1_img.jpg\) 秦野戸川公園のHPはこちらから](#)